

令和5年第29回定例公安委員会会議録

開催日時 令和5年10月12日(木) 午前11時15分～午後2時40分

開催場所 警察本部

第1 定例会議

1 開催時間 午後1時30分～午後2時20分

2 出席者

公安委員会 衣笠委員長 勝部委員 久本委員

警察本部	半田警察本部長	雲田警務部長	山本首席監察官
	笠田生活安全部長	加藤刑事部長	前田交通部長
	岡山警備部長	植木警察学校長	坂口情報通信部長
	足羽警務部参事官	渡邊黒坂警察署長	

(事務局等～畔田公安委員会補佐室長、前田室長補佐)

3 議題事項

4 報告事項

- 令和5年全国地域安全運動の実施(生活安全部)
- 第53回全国白バイ安全運転競技大会結果(交通部)
- 駐在所員の活躍(黒坂警察署)

(1) 令和5年全国地域安全運動の実施(生活安全部)

警察本部

地域安全運動は、防犯協会を始めとする地域安全に資する機関、団体と警察が緊密に連携しながら、地域安全活動の効果を最大限に上げて、安心して暮らせる地域社会の実現を図ることを目的として、全国一斉に毎年実施しているものである。

この運動は、昭和52年に「全国防犯運動」として始まり、平成7年に現在の

「全国地域安全運動」と改称され、また、平成17年から、10月11日を「安全安心なまちづくりの日」と定めて以降、毎年10月11日から20日までの10日間を「全国地域安全運動」の期間としている。

運動の重点は、警察庁が指定する全国重点と各地域の実情に応じて県独自に設定する地域重点があり、今年の全国重点は、子供と女性の犯罪被害防止と特殊詐欺の被害防止が選定されている。地域重点は、全国重点と重複するが、一つが被害が相次ぎ、被害総額が過去最高を更新している特殊詐欺の被害防止である。もう一つが前年と比較し、増加が顕著な自転車盗、侵入盗、そして数自体は減少しているが刑法犯に占める割合の高い万引きの抑止を選定している。

期間中の主な取組は、保育園等における不審者対応訓練や防犯講習、特殊詐欺被害防止として、コンビニ等における声掛け訓練、ラジオ出演による被害防止広報、商業施設において警察官に扮した幼稚園児による被害防止広報等を行う。そのほか、高校生ボランティアとの協働による街頭広報や駐輪場における施錠点検などを行う。

なお、この運動期間前ではあるが、10月7日の盗難防止の日に近接した10月6日に、万引き防止対策として鳥取県と共同で製作した、見る人の角度に応じて警察官の目玉が動く仕組みを施した新たなポスターの贈呈式を、鳥取市内のスーパーで行った。

このポスターは、今後、県内のスーパーやコンビニエンスストアなど、小売店を中心に配布する。ポスターの効果により、少しでも万引き被害を防止できればと考えている。

現状として、9月末の刑法犯認知件数は1,599件で、前年同期と比べて107件、7.2パーセントの増加となっている。これから年末を控え、更に慌ただしくなるが、被害を1件でも防止すべく、引き続き、関係機関・団体と連携しながら犯罪抑止対策を推進し、安全で安心な鳥取県の実現に努めていく。

委員

「全国地域安全運動」は、全国一斉に10日間実施し、運動の重点も鳥取県独自のものも設定されているということなので、是非、この機会にしっかりと呼び掛けていただきたい。

また、目が動くポスターは非常にインパクトが強く、良い取組であると思う。

委員

金融機関やコンビニエンスストアなど、関係機関との連携が進んでいると思う。是非、ますます連携を深めていただきたい。高校生とも連携し、自転車の施錠点検などを呼び掛けているということなので、引き続き、たくさんの人を巻き込んで、運動を推し進めていただきたい。

委員

この地域安全運動では、防犯協会を始めとする地域安全に資する機関、団体と

連携して一緒にやっていくことが重要である。運動の取組の中で、ラジオ出演もされるということだが、警察官が出演するのか。

警察本部

そのとおりである。

委員

犯罪の件数が増えているので、減少に転じられるように、各機関と連携を密にして、有意義な運動としていただきたい。

(2) 第53回全国白バイ安全運転競技大会結果（交通部）

警察本部

この大会は、白バイ乗務員の運転技能を向上させ、受傷事故の絶無を期すとともに士気の高揚を図り、道路交通の安全の維持に資することを目的に毎年開催されている。本年は、10月7日から9日までの3日間、茨城県ひたちなか市にある自動車安全運転センター安全運転中央研修所で開催された。

本県からは、男性の部に選手2人と補欠1人が、女性の部に選手1人が出場した。昨年から、女性白バイ隊員のバランス傾斜走行競技が正式競技に採用され、今年の大大会から本県の女性隊員を出場させることとした。男性の部は、バランス走行操縦競技、トライアル走行操縦競技、不整地走行操縦競技及び傾斜走行操縦競技の4種目、女性の部は、バランス走行操縦競技及び傾斜走行操縦競技の2種目でそれぞれ競技が行われた。

なお、この大会期間中の天候は、初日と2日目は晴れであったが、最終日は雨風が強い中での競技となり、不整地走行操縦競技、傾斜走行操縦競技で転倒者が相次いだ。

男性の部の団体成績は、36チーム中26位で、個人成績は、出場全選手99人中67位と85位であった。女性の部の個人成績は、出場全選手39人中19位であった。選手達も精一杯取り組んだので、来年につながる結果になった。本大会の経験を生かして、来年はさらに上位を目指したい。

委員

今回の反省を来年の大大会に生かし、頑張っていたきたい。また、白バイ操作のスキルを磨いて、交通事故の抑止にしっかり役立てていただきたい。

委員

大会の目的に、運転技能の向上、受傷事故の絶無を期す、士気の高揚、道路交通の安全の維持に資するとあるが、本当にこれらの目的を持って、技術向上に取り組んでいただきたい。さらに技術を磨いて、県民のために生かしていただきたい。

い。

委員

白バイは、機敏に動くことができる乗り物であるが、事故を起こせば大きな受傷事故になるので、こういう大会を通して更なるスキルアップを図ってほしいと思う。来年は上位を目指して、頑張ってもらいたい。

(3) 駐在所員の活躍（黒坂警察署）

黒坂警察署

黒坂警察署から、管内の高齢化率等の情勢及び駐在所員の活躍の状況について説明がなされた。

委員

黒坂警察署では、少ない署員数で、管内の治安を維持していただいている。管内の面積は、県内の約5分の1を占め、管内の2人に1人は高齢者という状況であるが、その中で、地域住民にしっかりと働きかけていただいている。

ケーブルテレビ、防災無線、広報紙等を活用して、地域住民に呼び掛けていくことは、本当に大事だと思う。また、撮り鉄対策については、撮り鉄の方にマナーを守らせた上で、JRや地域と連携しながら、できる範囲で対応していただきたい。

駐在所員の活躍をたくさん紹介していただいたが、黒坂警察署のように一つ一つ丁寧に対応していただいていると、県民は非常に安心できると思う。引き続き、顔の見える関係を大切にして、警察活動を行っていただきたい。

委員

鳥取県の面積の5分の1が黒坂警察署の管内ということで、本当に広範囲だなと改めて感じた。また、管内の高齢化率等の情勢について、住民の半分が高齢者ということで、本当に大変な地域を守っておられると認識させていただいた。先週、警察署の代表電話が音声ガイダンスに変わり、駐在所の加入電話が廃止されるという報告を受けたが、山間部は、駐在所の存在意義が大きいので、音声ガイダンスに変わるということは、しっかりと広報していただきたい。

それから、全国では、熊の出没が相次いでいるということだが、熊の出没に対する対応は、何か考えているか。

黒坂警察署

熊であれば、けが人が出るおそれがあるので、そういった情報があれば、すぐに防災無線で流すなど、注意喚起しているところである。

委員

今年に入ってから、熊が出たということはあるか。これまで、住民に対する被害はあるか。

黒坂警察署

2、3回、目撃されているが、被害はない。

委員

是非、気を付けていただきたい。いろいろなことに対して、少ない署員で対応されているということで、大変だと思うが、しっかりと住民に寄り添って、対応していただきたい。地域住民の方も本当に頼りにされていると思う。恐らく、こういう山間部では、独り暮らしの方は、不安な夜を過ごされていることもあると思うので、「駐在さんがおられる。」「黒坂警察署には署員の方がおられる。」という、心の安全のような部分をしっかりと確保していただければと思う。

管内の面積が、県内の5分の1の面積を占めるということだが、どのような思いで対応しているか。

黒坂警察署

管内は、高齢の方が多く、山が深いので、駐在所員が一軒ずつ巡回している。また、町との連携が必要である。何か発生する前に、何か起こる予兆があれば、芽をつんでいくという形で業務を進めている。

委員

地域の方にとっては、町の存在、警察署の存在は、大きいと思うので、大変だが、しっかりと対応していただきたい。また、少子化で学校の統合が行われているということで、子供たちの通学範囲も大変広がっていると思う。不審者や熊の出没があると思うが、子供たちが登下校の折りに危険な目に遭わないように、しっかりと対応していただきたい。地域の頼りになる黒坂警察署として、引き続き、活動していただきたい。

委員

数字を見て、改めて大変なエリアだと思う。管内の面積が県内の5分の1を占め、人口は県人口の4パーセントに満たず、高齢者率が5割に近いという中で、こういうエリアで駐在所員の活躍なしには、安全が保てないんだと思う。地道な活動を展開していただいております、非常に有り難い。高齢者宅の巡回指導や留守番電話の設定をしてあげるといったようなこともされているようだが、独居の方もかなりいらっしゃると思うので、そのような活動が地域の安心につながるのだろうと思う。

認知症の不明者も増えていると思うが、管内でもそういった相談はあるか。

黒坂警察署

何件かはある。実際、そのような認知症の方の行方不明事案は多くなっているが、町中ではないので、目撃者はなく、非常に発見しづらいという問題はある。

委員

駐在所員の存在自体が住民の安心につながるような、そんな活動をお願いします。このエリアの安全安心のために引き続きお願いします。

第2 その他の公安委員会活動

1 意見の聴取

運転免許課から、道路交通法に基づく意見の聴取3件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

2 報告事項

- ・ 審査請求の受理（2件）
- ・ 公安委員会宛て苦情に係る調査結果
- ・ 似顔絵作成講習会及び第43回似顔絵コンクールの開催

3 決裁

公安委員会宛て苦情に対する回答

4 公安委員会委員間の事前検討・協議等

5 公安委員会補佐室からの事務連絡等

公安委員会補佐室から当面の行事予定等について確認と説明があり、了承した。